

平成 23 年度第 5 回（100 回）

清瀬市まちづくり委員会議事要旨

日 時：平成 23 年 11 月 15 日午後 3 時から

場 所：健康センター第 3 会議室

出席者：下嶋一義、伴貞男、青山茂昭、戸塚弘、大森正子、織田祐輔、長縄宜幸、金子裕輝、増田恵美子、大久保實、齋藤徳次郎、神吉正代、阿久津たか子、今瀬千佳子

事務局（市民協働係長、企画課主事）

欠席者：円城寺修、赤石達樹、鈴木晃、原剛、佐藤勝栄

<配布資料>

- 1 平成 23 年度第 4 回（第 99 回）清瀬市まちづくり委員会議事要旨
- 2 まちづくり委員会への提案内容に対する審議結果について（報告）（案）
- 3 清瀬市まちづくり基本条例に関する提案用紙
- 4 提案「リスクコミュニケーションの強化を」資料
- 5 提案「中央公園の整備について」資料
- 6 まちづくり提案審議 進行表

1 開会

2 前回の確認

委員長：提案「大和田通信基地の一部を地元住民に開放すべき」の回答について前回私の方で修正したのだがいかがか。

委員：市の方で大田和公園をいつ整備するのか、また市報に結果を公表した方が良いのではないか。

委員：本来まちづくり委員会は市長へ提言することが主なので、活動を周知することを主とするのは筋が違うと思う。

委員長：文言として回答の「皆さん」の前に「市民の」を加える。次に緊急時連絡手帳のアンケートについて、委員の皆さまの回収したアンケート

を報告していただきたい。

<各委員からアンケートについて下記のとおり報告があった。>

- ・ヘルプカードを誰が取扱い、どこで貰えるのか。
- ・費用について誰が持つのか。
- ・サンプルで貰った用紙の印刷が黒くてよくわからない。
- ・対象が子どもよりは高齢者や障害者がメインであると受け取られている。
- ・やるからには市民全員に周知しなくてはならない。
- ・出来れば東村山のヘルプカードを各委員に配布し、カードをもとにアンケート回収活動を行いたかった。
- ・作った方がよいとの回答が多かった。
- ・カードと手帳を併せたタイプを作ってもよいと思う。
- ・カバン等の見えやすい所に「ヘルプカード所有」とワッペンを作っても良いのではないかと言われた。

委員長：記入に関しては所持者の任意であるので、障害者であるから必ず記入するとは考えていない。サンプルに関しては東村山で配布していたヘルプカードの説明書を希望者へ後日送付するものとする。

事務局：次回の委員会が12月20日なので、それまでにアンケートを集計し、次回会議資料とするので12月13日必着でお願いしたい。

委員：まとめとしては今委員に配られているアンケート用紙を使い、サンプルが見えづらい場合はサンプルを事務局から送ってもらい、追加でアンケート用紙が欲しい場合は事務局に連絡でよろしいか。アンケート用紙については送付する際どうすればよいか。

事務局：各委員の近くにある公共施設の窓口に渡してもらえば市の交換便で受け取る事が出来る。

委員長：では提案「リスクコミュニケーションの強化を」について審議をしたい。

<委員長からの資料をもとに説明を行った。>

- ・神戸市から緊急時における生活物資確保に関する協定の資料を送ってもらった。
- ・清瀬市では災害時に各地域企業と物資援助についての協定を結んでいる。
- ・12月4日に七小で地域の住民による防災訓練が行われる。
- ・豊島区は総合危険度が高く、資料にある公園に災害時の備品が都の助成によって整備されている。

<次回は12月20日火曜日午後3時とする。>